

第1回安中市総合計画審議会 議事録

(以下 敬称略)

- 【日 時】 平成29年5月23日(火) 午後1時30分～3時
- 【場 所】 市役所本庁第305会議室
- 【出席委員】 17名(小竹、小嶋、田島、千葉、保々、大塚、上原(メ)、阿久津、三宅、須藤、恩幣、大平、吉田、上原(邦)、神成、久保、夢胡)
- 【欠席委員】 4名(篠原、武井、高橋、田村)
- 【事務局】 7名(市長、総務部長、企画課長、企画調整係長、企画調整係担当職員3名)
- 【支援事業者】 2名(特定非営利活動法人NPOぐんま研究員)
- 【配布資料】
- ・次第
 - ・資料1：第2次計画の内容案
 - ・資料2：計画の構成と期間の案
 - ・資料3：計画の進捗管理の案
 - ・資料4：第1次総合計画の体系と第2次総合計画の体系案の比較
 - ・資料5：第2次計画の体系案
 - ・資料6：第2次安中市総合計画策定体制
 - ・資料7：策定スケジュール
 - ・資料8：第2次総合計画策定のための市民アンケート調査結果のご報告
(概要版リーフレット)
 - ・資料9：安中市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン
安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【会議経過】

1. 開会(進行：総務部長)
2. 委員委嘱及び委員紹介
〈市長より委嘱状交付後、各委員自己紹介〉
3. 市長挨拶
4. 会長、副会長の選出
〈互選により、会長に小竹委員、副会長に田島委員を選出〉
5. 諮問
〈市長より、第2次安中市総合計画(平成30年度から平成38年度)の策定内容について諮問〉

6. 協議事項

(1) 第2次安中市総合計画の策定について

〈資料1～3、6、7に基づき事務局より説明〉

〈委員〉昨年3月に策定された総合戦略との整合性はどのように図るのか。

〈事務局〉総合戦略は、平成27～31年度までの5年間の計画であり、人口減少への対応に特化した内容となっている。人口減少への対応は総合計画の中でも重要な視点となるので、重点施策として対応していきたい。

〈会長〉総合計画は、まちづくりの憲法のようなものであり、9年間の時限立法のようなものと考えられる。総合戦略の内容も踏まえて検討を進めるということだと思う。他に不明な点等あれば、後日メール等で事務局に質問してもよいと思うし、そのような方法を事務局は検討してほしい。

(2) 市民アンケート調査の結果報告について

〈事務局〉分析を担当したNPOぐんまに説明をお願いしたい。

〈資料8に基づき、NPOぐんまより説明〉

〈会長〉回収率54.2%というのは大変高い値である。通常、2～3割程度確保できれば良いほうだと思う。自由記述欄にたくさんの記述があったということとあわせて安中市の特徴だと思う。

〈委員〉子育て環境や医療体制の重要度が上がっているようだが、具体的にどのような充実を望んでいるのか、自由記述等で意見があったか。また、年齢別の違いなどが見られたかどうか教えてほしい。

〈NPOぐんま〉(資料8の4ページ)「結婚・出産・子育てがしやすいまちにするために、特にどのようなことが大切だと思いますか。」について見ると、年代にかかわらず「子育てへの経済的支援の充実」やワーク・ライフ・バランスに関係する項目の値が高かった。医療関係については、(碓氷病院など)医療施設のある地域に居住している方や、年齢が若い方も不安に感じている傾向が見られた。つまり、医療施設が近いから安心、若いから安心というわけではなく、将来、医療施設がなくなったら、自分が年を取ったら不安だと感じている部分があるのだと思う。詳細結果については、報告書の詳細版をご覧ください。

〈会長〉診療科目の充実度に対する不安感があるかもしれない。詳細版はどのくらいのボリュームがあるのか。

〈NPOぐんま〉134ページである。

〈会長〉コスト的に大変かもしれないが、できれば各委員に配布をお願いしたい。

〈委員〉回答者の内訳を見ると、60・70歳の割合が高いが、若い人の意見が反映されにくいということはないのか。

〈NPOぐんま〉年代別の分析も行っているので、若い年代の傾向についても注視していきたい。年代別の結果についても詳細版に記載してあるのでぜひ確認してほしい。

〈会 長〉いわゆる「シルバーデモクラシー」、つまり人数が多い高齢者の意見に引っ張られてしまうことに対する懸念だと思う。

〈委 員〉この調査は、16 歳以上を対象にしているが、そのうち高校生の傾向を把握することは可能か。

〈NPO ぐんま〉高校生を特定することはできないが、年代が「10 歳代」で、職業が「学生」という 2 つからの把握であれば可能である。

〈委 員〉年代比率について、回答者と実際の人口はどのようなになっているのか。

〈NPO ぐんま〉本日はデータを用意していないが、人口割合と大きくは異ならないと思われる。その中で、本調査のほうが、60 歳代は高く、70 歳以上は低くなっているようだ。細かな数値は後日示したい。

〈会 長〉前回の平成 23 年調査と今回の調査との違いを見る際に、検定を行ったのか。

〈NPO ぐんま〉回収数の違いによる標本誤差を考慮して分析を行っている。

〈会 長〉サンプルのとり方による分布の違いの検定などについても、今後必要があれば相談させてほしい。繰り返しになるが、調査結果の詳細版の配布が可能か。

〈事務局〉次回開催より前に郵送にて配布したい。

(3) 基本計画の施策体系（案）について

〈事務局〉NPO ぐんまに説明をお願いしたい。

〈資料 4、5 に基づき、NPO ぐんまより説明〉

〈会 長〉今の報告は、施策体系がこれで確定ということではなく、整理作業をしているという状況の説明であり、今後、修正すべき点等があれば検討していくという理解でよいのか。

〈NPO ぐんま〉そのとおりである。このように整理作業を進めていることをご承知いただきたい。

〈委 員〉市民アンケート調査の結果もこの中に入れ込んでいくという理解でよいのか。

〈NPO ぐんま〉そのとおりである。今後、各施策の担当課へのヒアリング調査を予定しており、その際にはこの調査結果を示し、それを踏まえた上で、現状と課題や、今後の取り組みの方向性等について取りまとめていきたいと考えている。

〈会 長〉後日、メールや FAX 等で意見や質問を受け付けるような仕組みをとることは可能か。

〈事務局〉本日の開催通知に記載した事務局の FAX 番号やメールアドレスにて対応したい。次回開催は 7 月を予定しているので、意見等があれば、できれば 6 月末くらいまでに遠慮なく出していただき、反映できるものは計画案に盛り込んでいきたい。

〈会 長〉了解した。市民アンケート結果の詳細版も届くと思うので、それも見ながらぜひ意見等を事務局に寄せてほしい。他に意見等がなければ本日の協議は以上で終了としたい。

7. その他

〈事務局〉小竹会長の大学の研究室が作成した安中市の紹介冊子「今、安中にいます。」を配布したのでご覧いただきたい。

〈会 長〉これは、群馬県から 50 万円の予算をもらい、安中市を元気にしたいということで、安中市の隠れた資源を調査した。約 12 回、学生が安中市に入り、「学生の味付け」ですべて

学生自身が作成した冊子である。時間のある時にぜひ見てほしい。

〈事務局〉 本日の協議内容をまとめたもの、アンケート結果の詳細版を後日送付したい。次回は基本構想の素案を示せるよう、準備を進めたい。そのため、次回はより具体的な内容について審議がいただけると思う。次回開催日程は、7月中～下旬を予定し、日程調整の後、通知したい。

8. 閉会

以上

議事録署名人 千葉桂子

議事録署名人 保々喜久治